

ハンセン病を こころで学ぶ

熊本大学医学部で行う

菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展

2024年5月9日(木) - 5月15日(水)

9:00 - 18:00 ※5月11日(土)、12日(日)閉館。最終日は13:00まで

観覧無料

会場

熊本大学本荘北地区
医学教育図書棟1F
図書館医学系分館

会場への
アクセスは
こちらの
QRコードから



「ふるさと」 入江章子 1996年 油彩 キャンバス 60.6 x 72.7 cm

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会は、1953（昭和28）年に発足した絵画クラブです。特定の師を持たず、独学で描かれた作品の数々は900点以上にもおよび、NHKの日曜美術館でも放映されました。思いのほか明るい色彩の絵や、阿蘇や園内風景・動物たちを優しい眼差しで描いた作品のなかに、きっとお気に入りの絵が見つかることでしょう。

しかし一人静かに絵と向き合っている間に、絵の背景にあるものが心に迫ってきます。穏やかなタッチの中に、二度と戻れない故郷への念や、果たせなかった親子として慈しみあう暮らしへのあこがれなど、心に響く作品に出会えます。

隔離差別の中で絵を描く喜びに救われたとおっしゃっている方達の、生き生きとした作品に直接ふれ、いかなる環境でも希望を見いだす人間の強さを作品群から感じていただきたく思います。過去の話ではなく今なお続く課題として、医学部生だけでなく、さまざまな方々に絵画との対話を通じてハンセン病について、こころで学ぶ機会になれば幸いです。

主催：熊本大学附属図書館医学系分館
協力：一般社団法人金陽会、国立療養所菊池恵楓園、
国立療養所菊池恵楓園入所者自治会絵画クラブ金陽会
企画：熊本大学附属図書館医学系分館と
藏座江美さん（キュレーター）の共同企画

藏座江美 [そうざ えみ] さん

元熊本市現代美術館主任学芸員。2002年の開館当初から菊池恵楓園と関わり、菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展「光の絵画vol.1~3」を企画・担当。現在、一般社団法人金陽会理事として、菊池恵楓園絵画クラブの作品の調査に携わる。「いのちのあかし展」（2016 京都）、「ふるさと、奄美に帰る」（2018 奄美大島）、「ふるさと、天草に帰る」（2020 天草）、「これまで→これから」（2022、2023 熊本）、「知らない」を観に行こう。vol.13（2024 福岡）など各地で展覧会を開催。

■お問い合わせ先
熊本大学附属図書館医学系分館
〒860-8556
熊本市中央区本荘1丁目1番地1号
☎096-373-5035

